学校番号	325

令和５年度　福祉科

教科	(専)福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	社会福祉基礎　（実教出版）						
副教材等	新過程社会福祉基礎学習ノート　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な知識の習得は、座学と教科書や資料で理解しましょう。人に寄り添ための聞き取る力は視聴覚教材や出会いで養い、伝える力はグループワークやプレゼンで養いましょう。地域や社会に関心を持ち、参画、貢献しようとする意欲と積極性が大切になります。

２　学習の到達目標

・社会福祉に関する基礎的な知識と技術を獲得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の発展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身につける。
・現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力、関わる力を身につける。
・対人援助のあり方や社会福祉制度の基礎的な理解のもと、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	社会福祉に対する関心を高め、福祉社会が抱える課題に意欲を持って目を向けるとともに、社会福祉の向上を図る創造的、実践的な態度を身に付けている。	社会構造の変容、ライフスタイルの変化がどのように社会福祉の進展に影響し、そこから派生する諸課題の解決に向けて考え、表現する能力を身に付けている。	社会構造の変容及びライフスタイルの変化と社会福祉の理念について資料、情報を適切に活用し、調査研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。	自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している。
評価方法	授業への参加度 ノート ワークシート 発表	定期考査 レポート ワークシート 発表	授業への参加度 定期考査 レポート ワークシート 発表	定期考査・小テスト レポート ワークシート 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	社会福祉の理念と意義	生活と福祉 社会福祉の理念 人間の尊厳と福祉社会の創造	○	○		○	a: 自立生活支援や社会福祉の理念について関心を高め、利用者本位の支援のあり方を意欲的に追求する態度を身に付けているか b:憲法や法制度の理解をとおして理念や社会福祉の構築について考察できているか d: 自立生活支援や社会福祉の考え方を把握し、社会福祉に関する基礎的な知識を身に付けるとともに現代社会と社会福祉の関連性、社会福祉の理念と意義・役割を理解している	ノート ワークシート 考査
	社会福祉の歴史と福祉社会の課題	諸外国における社会福祉 日本における社会福祉	○	○		○	a: 諸外国及び日本の社会福祉の歴史に対して関心をもち、社会福祉の歴史的経緯について意欲的に追求する態度をみにつけている。 b:諸外国や日本の福祉における歴史理解をとおして現代の社会福祉の構築について考察できているか d:諸外国及び日本の社会福祉の歴史について基礎的な知識を身に付け、各時代が担った意義・役割を理解している。	ノート ワークシート 考査

2	生活を支える社会福祉・社会保障制度	社会福祉・社会保障制度の意義と役割 子ども家庭福祉 障がい者福祉 高齢者福祉 生活支援のための公的扶助 国民生活を支える社会保障制度	○	○	○	○	a:生活を支える社会保障に対して関心をもち、社会福祉の各分野の現状と課題を意欲的に追求する態度を身に付けている。 b:生活を支える社会保障制度の概要について思考を深め、社会福祉の各分野の現状と課題に向き合うことで的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c:社会福祉の各分野に関する様々な資料や情報を適切に選択して活用し、調査・研究の場で的確にまとめる技術を身に付けている。 d:生活を支える社会保障制度の概要に関する基礎的な知識を身に付け、各施策の意義・役割を理解している。	参加態度 ノート ワークシート 考査 発表 レポート

3	人間関係とコミュニケーション・地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	コミュニケーションの意義 援助におけるコミュニケーションの人間関係の形成 社会福祉援助活動の概要 地域福祉の進展と地域の将来 多様な社会的支援制度 社会福祉の将来と福祉の担い手	○	○	○		a:人間関係を形成する上でのコミュニケーションの技法や社会福祉援助活動に対して関心を持ち、福祉に携わる姿勢を意欲的に追及する態度を身に付ける。また、多様化する福祉社会に対して関心を持ち、さらなる発展にむけて意欲的に追求する態度をみにつけている。 b:人間関係を形成する上でのコミュニケーションの技法や社会福祉援助活動に関して思考を深め、それぞれがもつ意義や役割を考察し、表現する能力を身に付けている。多様化する福祉社会について思考を深め、将来における福祉社会への展望を的確に考察し、表現する能力を身に付けている。 c:コミュニケーションの基礎のもと、言語的コミュニケーション及び非言語的コミュニケーションを駆使し、適切に人間関係を構築する技術をみにつける。地域福祉における諸活動、支援制度に関する資料や情報を適切に選択して活用し、調査研究などをとおして考察した結果を的確にまとめる技術を身に付けている。	参加態度 ノート ワークシート 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。